

令和7年度 事業報告書

社会福祉法人 大月市社会福祉協議会

事業報告目次

1	法人運営事業	(1)
2	地域福祉推進事業	(6)
3	法人後見事業	(1 0)
4	市受託事業	(1 1)
5	県社協受託事業	(1 9)
6	共同募金配分事業	(1 9)
7	福祉金庫基金	(2 0)
8	介護保険訪問介護事業	(2 2)
9	介護保険通所介護事業	(2 5)
10	介護保険居宅介護支援事業	(2 6)
11	障害者サービス事業	(2 7)
12	地域支援事業	(2 7)

令和7年度 事業報告

事業の実施概要

令和7年度は、住民主体による支え合い活動を基本とし、地区社会福祉協議会の支援、ふれあい・いきいきサロン活動の推進、ボランティア活動の充実、福祉教育の推進など、地域に根ざした福祉活動の推進に努めるとともに、昨年度より開始した、判断能力が十分でない方の権利や財産を守るための法人後見事業の推進を図りました。

また、介護保険3事業（居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・通所介護事業所）においては、サービスの質の向上に努めるとともに、地域福祉推進役である社協の事業所として、利用者と地域との関わりに目を向け、常にニーズの発見や資源開発などを意識しながら事業所経営を行いました。

今後も、地域共生社会の実現に向け、地域の実情や住民ニーズを踏まえながら、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりに努めてまいります。

1 法人運営事業

(1) 役員及び会議

①役員

令和7年度役員（理事・監事）は次のとおりです。

令和7年度役員		退任者	
役 員 名	氏 名	役 員 名	氏 名
会 長	白 川 恵 子		
副 会 長	小 林 幹 夫		
〃	安 藤 睦 美		
〃	白 川 昌 己		
理 事	天 野 淳	理 事	米 山 恭 司
〃	藤 本 孝 明	〃	畠 山 哲
〃	藤 本 兼 三	〃	青 柳 薫
〃	小 俣 公 司		渡 辺 芳 江
〃	金 澤 佐 枝 子		安 藤 一 洋
〃	小 俣 理 美		
〃	古 藤 正 典		
〃	小 俣 民 男		
〃	小 俣 加 代 子		
〃	平 井 克 二		
監 事	後 藤 正 巳		
〃	永 岩 尊 暢		

②会議

ア 理事会

開催年月日（出席者数）	会 議 内 容
令和7年 4月 8日 （理事14名・監事2名） ※決議の省略	1 介護職員等処遇改善加算及び福祉・介護職員等処遇改善加算の支給基準等に関する要綱の制定について 2 理事候補者の選定について 3 令和7年第3回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和7年 4月28日 （理事14名・監事2名） ※決議の省略	1 常務理事の選定について
令和7年 6月 2日 （理事11名・監事1名）	① 会長の職務執行状況の報告 1 大月市社会福祉協議会臨時的任用職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の給与等に関する規程の一部改正について 3 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 4 介護職員等処遇改善加算及び福祉・介護職員等処遇改善加算の支給基準等に関する要綱の一部改正について 5 令和6年度大月市社会福祉協議会事業報告について 6 令和6年度大月市社会福祉協議会一般会計決算について 7 理事並びに監事候補者の選任案について 8 評議員候補者の推薦について 9 評議員選任・解任委員会委員の選任について 10 令和7年度大月市社会福祉協議会定時評議員会の招集について 11 令和7年第1回大月市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
令和7年 6月18日 （理事12名・監事2名）	1 会長・副会長・常務理事の選定について 2 顧問の選任について
令和7年 8月 7日 （理事12名・監事1名）	1 大月市社会福祉協議会指定通所介護事業所運営規程の一部改正について 2 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について
令和7年 9月 1日 （理事12名・監事2名）	1 大月市総合福祉センター・大月市デイサービスセンターやまゆりの指定管理者の指定申請について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会就業規則の一部改正について 3 令和7年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号（案）について 4 評議員候補者の推薦について 5 令和7年第5回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について 6 令和7年第2回大月市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について

令和7年10月14日 (理事12名・監事1名)	1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 2 大月市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部改正について 3 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業（訪問型サービス）運営規程の一部改正について 4 介護職員等処遇改善加算及び福祉・介護職員等処遇改善加算の支給基準等に関する要綱の一部改正について
令和8年 1月29日 (理事10名・監事2名)	① 専決第1号 社会福祉法人大月市社会福祉協議会就業規則の一部を改正する規則 ② 専決第2号 社会福祉法人大月市社会福祉協議会介護事業所職員の手当の支給基準等に関する要綱 ③ 大月市総合福祉センター・大月市デイサービスセンターやまゆりの指定管理者の指定について 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の給与等に関する規程の一部改正について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 3 令和7年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号（案）について 4 評議員候補者の推薦について 5 令和8年第1回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について 6 令和8年第1回大月市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
令和8年 3月16日 (理事13名・監事1名)	① 会長の職務執行状況の報告 ② 各主要事業実施報告について 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会就業規則の一部改正について 2 大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 3 大月市社会福祉協議会指定居宅介護・重度訪問介護事業運営規程の一部改正について 4 役員等賠償責任保険契約について 5 令和7年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号（案）について 6 令和8年度大月市社会福祉協議会事業計画（案）について 7 令和8年度大月市社会福祉協議会一般会計予算（案）について 8 令和8年第2回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について

イ 評議員会

開催年月日（出席者数）	会 議 内 容
令和7年 4月18日 (29名) ※決議の省略	1 理事の選任について
令和7年 6月18日 (15名)	1 大月市社会福祉協議会臨時的任用職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の給与等に関する規程の一部改正について 3 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 4 令和6年度大月市社会福祉協議会事業報告について 5 令和6年度大月市社会福祉協議会一般会計決算について 6 理事並びに監事の選任について
令和7年 9月 8日 (19名)	1 大月市総合福祉センター・大月市デイサービスセンターやまゆりの指定管理者の指定申請について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会就業規則の一部改正について 3 令和7年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号（案）について
令和8年 2月 5日 (19名)	① 大月市総合福祉センター・大月市デイサービスセンターやまゆりの指定管理者の指定について 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の給与等に関する規程の一部改正について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 4 令和7年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号（案）について
令和8年 3月24日 (16名)	1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会就業規則の一部改正について 2 大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 3 令和7年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号（案）について 4 令和8年度大月市社会福祉協議会事業計画（案）について 5 令和8年度大月市社会福祉協議会一般会計予算（案）について

※ ○数字の内容は報告事項。

(2) その他

①社協に対する寄附金ならびに寄附物品

次の方々や団体から浄財が寄せられました。寄附金については、社協福祉基金に積立を行いました。必要に応じ、地域福祉に係る事業等へ有効活用させていただきます。

年 月 日	氏 名	金額(円)	物品の場合の品名
R7. 5. 20	殿畑膳椀共同組合（川端組、中組、下組）	10,377	
R7. 6. 25	大月市ダンス愛好会	5,000	
R7. 9. 16	社会福祉チャリティーゴルフ大会実行委員会	261,699	
R7. 10. 31	紅富士太鼓	16,309	
R7. 11. 3	匿名	190,153	
R7. 11. 4	匿名	10,000	
R7. 12. 18	大月市ダンス愛好会	5,000	
R8. 1. 20	星野忠昭&ちゃん・オールディーズ	293,000	音響設備一式
R8. 2. 24	匿名	5,000	
R8. 3. 10	サロン強瀬	17,633	
R8. 3. 26	手話サークル山百合	5,000	
	合 計（11件）	819,171	

(敬称略)

②苦情内容及び解決結果の公表について

令和7年度 0件

2 地域福祉推進事業

(1) 地域福祉活動事業

①大月市地域福祉推進大会（社会福祉大会）

社会福祉に携わる方々と高齢者・障害者の方々などが一堂に会し、本大会を契機に新たな社会福祉の推進方策を探ることを目的に実施しました。

大会の第1部では、社会福祉の発展に功績のあった個人の方々を表彰し、感謝の意を表したほか、6年ぶりに社協職員による「地域共生社会について考えてみよう」と題した寸劇を行い楽しんでいただきました。

第2部では、武蔵野大学教授渡辺裕一氏を講師に迎え「地域共生社会の実現に向けて」と題した講演をしていただきました。地域共生社会の実現は、決して難しいことではなく身近なことであり、みんなで作り上げていくものであるというお話をいただき、参加者一人ひとりが考えることができる場となりました。

- ・実施日 令和7年11月24日（月・祝）
- ・場 所 大月市民会館 大ホール 参加者305名
- ・内 容 第一部 式典(社会福祉事業功労者への表彰)
第二部 講演 「地域共生社会の実現に向けて」
講師 武蔵野大学 教授 渡辺 裕一 氏

②各種団体助成事業

各種諸団体が行う独自の福祉活動等に対し助成を行い、地域福祉の推進に努めました。

大月市障がい者福祉の会	70,000 円
大月市ボランティア協議会	100,000 円
大月市老人クラブ連合会（ゲートボール大会）	50,000 円
地区社会福祉協議会（8地区）	668,000 円

＊助成金には、共同募金配分金も含まれています

③日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方の権利を擁護することを目的として、地域において自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行うものです。

大月市社協は、山梨県社協が実施する日常生活自立支援事業の基幹的社会福祉協議会として委託を受け、利用を希望される方の相談から面談、調査、支援計画の作成、利用契約、支援まで一連の対応を行っています。日常生活においては、利用者の通帳や重要な書類等の預かり、日常的な金銭の管理（公共料金などの支払代行、金融機関での手続きの代行、預金払戻し、福祉サービスの利用料の支払い手続きの代行）の支援を行ないました。

令和7年度においては、認知症高齢者2名、知的障がい者7名、精神障がい者11名、計20名への支援を行ないました。

令和7年度 利用及び相談件数

対象	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
件数	32	289	505	0	826

また、市民生活支援員として、市民後見人養成講座や市民生活支援員養成講座を受講した12名の方が市民生活支援員として活動をしていただいています。

④ふれあい・いきいきサロン推進事業

ふれあい・いきいきサロンは、一人暮らしの方や高齢者、地域住民が徒歩で気軽に行ける場所に集い、孤立や孤独を防ぎ仲間づくりにつなげる現代風「お茶のみ会」です。大月市内では、現在43サロンあり、各サロンの独自性を活かしながら活動しています。

1サロンにつき年2回程度、担当の職員がサロンへ訪問し、体操やゲーム等のレクリエーション、お茶飲みを通じサロンや地域の課題把握に努めました。各地区のサロンの登録数等は次のとおりです。

・サロン登録数43箇所／社協職員派遣回数26回程度

地区名	サロン数	増減	登録者数
笹子	5	±0	78
初狩	0	±0	0
大月	8	+0	190
賑岡	4	±0	82
七保	8	-2	141
猿橋	7	-1	99
富浜	5	±0	77
梁川	4	-1	51
その他	2	±0	65
合 計	43	-4	783

(2) ふれあい福祉推進事業

①ふれあい福祉バザー

住民生活に密着した社会福祉事業に取り組むための自主財源の確保を目的に、市民の協力を得ながら「ふれあい福祉バザー」を実施しました。

この収益金は、地区社協活動をはじめとする、地域福祉への理解を深め、活動をより充実させるために活用させていただきました。

- ・実施日 令和8年2月8日（日）
- ・場 所 大月市総合福祉センター6階多目的ホール
- ・バザー提供品数 2,237点 売上金額 304,200円
- ・協力人数 26名程度

②友愛訪問活動事業

一人暮らし高齢者等の安否確認や話し相手などを目的として、地区民生委員児童委員に訪問の協力をお願いし実施しました。

地 区	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合 計
対象者数 (3月末現在)	7	5	18	8	9	12	0	8	67
延べ対象者数	95	72	211	101	129	138	0	111	857

③ファーストスプーン事業

生後6ヶ月までの赤ちゃんがいる家庭へ、各地区の民生委員と主任児童委員がご家庭訪問し、子育ての悩みをお聞きし、子育て支援に関する情報等を周知しながら、赤ちゃんの名前と生年月日を刻印した県産の木の手作りスプーンをプレゼントする、ファーストスプーン事業を実施しました。

(令和7年度配布数)

地 区	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合 計
対象者数	0	2	10	5	1	5	4	0	27

(3) ボランティアセンター運営事業

ボランティア活動や市民活動に関する相談や情報提供、活動先の紹介をしています。ボランティア団体等の活動支援や、ボランティア体験プログラムの実施、ボランティア活動関係団体との連絡・調整、活動の普及、活動中の事故に備えてのボランティア活動保険加入促進等を行うことを通じて、活動を推進しています。また、学校や地域の様々な場面ですすめられる「福祉教育」の推進・支援をしています。

①ボランティアセンター活動事業

ア 相談・登録・斡旋事業

- ・ボランティア（個人・団体）受付
- ・相談、ニーズに応じたボランティアの斡旋（施設・学校等）など
- ・ボランティア相談（登録、ニーズ、斡旋、福祉講話・教育、ボランティア活動・ボランティア行事用保険加入相談・事故対応）

□ボランティア登録団体

・大月市ボランティア協議会・七保地区ボランティア協議会・猿橋地区ボランティア協議会・梁川地区ボランティア協議会・点字サークル八重桜会・手話サークル山百合・おおつきお助け隊・絵手紙教室ボランティア・車いすレクダンス「矢車草」大月支部・童謡サークルわらべ・傾聴ボランティアつゆくさ・音訳ボランティア聲・手話奉仕員・いずみ会・わんにゃん隊・まちなかカフェまどい・チームゆりヶ丘・Vおいわけ清流会・DPLS-JAPAN・観光ボランティア

□個人で登録活動しているボランティア会員 225 名

イ 広報・啓発事業

- ・大月市社会福祉協議会、大月市ボランティアセンター「社協だより・ボランティアだより」全戸配布によるボランティア情報の発信を年間 4 回行いました。
- ・大月市社会福祉協議会Instagramにおいてボランティア情報の発信を随時行いました。（記事投稿数 53 回、フォロワー 414 人）

ウ ボランティアサークル等育成助成事業

- ・各種ボランティアサークルへの活動等に対し助成を行い、ボランティア活動の推進に努めました。

点字サークル八重桜会	20,000 円
手話サークル山百合	40,000 円
車いすレクダンス協会大月支部	30,000 円
音訳ボランティア聲	22,000 円
傾聴ボランティアグループつゆくさの会	40,000 円
手話で楽しむ会	40,000 円

エ ボランティア養成講座・研修の開催

講 座 名	回 数	参加者
手話奉仕員養成講座入門・基礎課程（R5.4 月～R6.3 月）	40 回	12 名
コーヒーボランティア養成講座	1 回	10 名

オ 大月市ボランティア活動普及協力校事業

学 校 名	内 容
大月市立初狩小学校	米づくり、ホテル再生プロジェクト、笹子初狩地域学習等
大月市立大月東小学校	梅もぎ体験、花いっぱい運動、先輩から学ぼう、大月空襲講話等
大月市立七保小学校	農業体験、お散歩集会、地域住民との交流等
大月市立猿橋小学校	農業体験、福祉講話、いのちの学習、キャリア教育
大月市立鳥沢小学校	環境美化、キャリア教育学習会、米作り体験、間伐体験と講話等
大月市立大月東中学校	愛町作業、福祉施設訪問、花いっぱい運動
大月市立猿橋中学校	愛橋作業、やまびこ交流会、地域学習、職場体験
山梨県立やまびこ支援学校	フラワーアレンジメント、商店街との交流、奉仕活動等、製品づくりと地域に向けた販売
フリースクールオンリーワン	オンリーワンカフェ
山梨県立都留高等学校	Social Analysis、学会発表、論文集作成
自然学園高等学校	環境美化、追分人形

カ 福祉教材、体験用具の貸出及び福祉講話の講師派遣（高齢者疑似体験・視覚障害体験・点字練習器・アイマスク・録音図書、手話・点字指導など）

キ ボランティア協議会事務局業務

ク 県内、市内各種行事への参加呼びかけとコーディネート

ケ 収集ボランティア活動推進（使用済み切手・ペットボトルキャップなど）

寄付先（古切手→（福）ぶどうの里勝沼授産園、ペットボトルキャップ→NPO
法人エコキャップ推進協会、プルタブ・アルミ缶・ハガキ→ボランティアセンタ
ー、紙・牛乳パック→就労支援事業所めばえ）

コ 災害時の協定締結（一般社団法人大月青年会議所、公益社団法人東部広域シルバ
ー人材センター、甲州富士山ライオンズクラブ・大月市）

3 法人後見事業

（１）法人後見事業

成年後見制度の充実を図るため、本会が成年後見人等を受任し、認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない方が自分らしく安心して暮らせるように、本人の権利や財産を守り、本人の意思を尊重した生活ができるよう法人後見事業を開始しました。

また、地域住民や福祉関係者等の方に事業の内容を知っていただくため、研修会を開催し、成年後見制度の周知啓発活動を行いました。

●令和7年度 法人後見受任件数 2件（後見1、保佐1）

①成年後見制度研修会

成年後見制度について、周知啓発を図るとともに成年後見制度の仕組みや活用等について、理解を深めることを目的として研修会を開催しました。

- ・実施日 令和7年9月12日（金） 午後1時30分から午後3時まで
- ・場 所 大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール
- ・内 容 講 義 「成年後見制度について学ぼう」
講 師 弁護士 石川 恵 氏
- ・参加者数 30名

②法律相談

日常生活の中で起きる法律にかかわる問題（相続・遺言、成年後見制度、不動産登記、少額訴訟手続き、借金返済相談など）について、平日は忙しくて相談に行けないという方のために、土曜日に司法書士・弁護士による無料法律相談を開催しました。

●司法書士相談

- ・実施日 令和7年8月30日（土） 午前9時30分～11時30分
- ・場 所 大月市総合福祉センター 3階 研修室
- ・利用者 3名

●弁護士相談

- ・実施日 令和7年10月4日（土） 午前10時00分～11時30分
- ・場 所 大月市総合福祉センター 3階 研修室
- ・利用者 3名

4 市受託事業

(1) 在宅介護支援センター運営事業

①地域支援事業

ア 介護予防・生活支援サポーター養成講座

介護予防・生活支援サポーターを養成し、地域で高齢者の生活を支える活動、担い手側と支援を受ける側がお互いいつまでも元気に暮らすことができる社会を創ることを目的に4回計画し、3回実施しました。

講座日時及び内容等

日 時	参加人数	内 容 等
7月18日(金)	0名	①講義「心と体の健康について」 ②講義「対人援助技術について」 講師：一般社団法人山梨県介護福祉士会 甘利 俊明 氏 ③講義「ボランティア活動について」 講師：大月市社会福祉協議会 職員
10月7日(火) 13:30~16:15	5名	
12月8日(月) 13:30~16:15	6名	
2月18日(水) 13:30~16:00	5名	

②包括的支援事業

ア 地域包括支援センターランチ型総合相談窓口事業

地域包括支援センター(大月市)を補完する形で地域における相談窓口機関として、市からの委託を受け、市内に居住する65歳以上の高齢者や障がい者等の総合相談に応じました。

また、相談内容は、介護や介護保険に関する相談が多く、一人暮らし高齢者等の増加から権利擁護に関する相談も増えてきています。このような相談に対し、地域や関係機関、各種団体等と連携を図り、問題の解決に取り組みました。

相談内容及び件数

内 容	件数
介護に関する相談	12
介護保険に関する相談	5
権利擁護に関する相談	11
成年後見制度の活用	4
その他生活支援に関する相談	22
合 計	54

※合計54件のうち新規相談34件 継続相談20件

イ 生活支援体制整備事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるように地域の支えあい・助け合いの意識の啓発を図り、地域の多様な主体が連携を図れるような体制の整備を推進しました。

- ・地区組織活動推進委員会の開催

地区組織活動推進委員会を開催し、10地区の社協において、情報の共有を行ないました。また地域の困りごとなどの情報交換を行ないました。

○生活支援コーディネーター

- ・大月市地域生活資源マップの作成

高齢者の生活支援の充実を目的として、包括支援センターと連携し、「地域生活資源マップ」の作製に取り組みました。作成にあたっては、既存の情報の整理に加え、新規事業所や未把握の社会資源についても積極的に情報収集を行いました。

特に、新規事業所等に対しては直接訪問や聞き取りを行い、掲載の可否を確認するとともに顔の見える関係づくりを進めるなど地域内のネットワーク強化に努めました。

本事業を通じて、地域における生活支援サービスの可視化を図り、高齢者や支援者が必要な情報にアクセスしやすい環境整備につなげました。

- ・広報・啓発

生活支援コーディネーターの役割や活動内容について地域住民への理解促進を図ることを目的に、周知チラシを作成しました。作成したチラシは、窓口配布や各種事業、地域の集まり等において活用し、生活支援コーディネーターの周知と地域における支え合いの意識醸成につなげました。

また、SNSを活用した情報発信を行いました。投稿にあたっては、地域での取り組みや具体的な活動事例を分かりやすく発信し、身近に感じられる内容となるよう工夫しました。継続的な発信を行うことで認知度の向上を図り、地域住民や関係者への理解促進につなげました。

- ・ふれあいいきいきサロンへの移動スーパー誘致

ふれあいいきいきサロン利用者の買い物支援を目的として、移動スーパーの誘致に取り組みました。実施にあたっては、各サロンに対し電話による聞き取り調査を行い、移動スーパーに対するニーズの把握に努めました。その結果、需要が確認されたサロンに対して移動スーパー事業者との調整を行い、マッチングを図りました。

令和8年度においては、3件のマッチングを実施する予定です。

○就労の支援コーディネーター

高齢者の個性を生かしながら個人の特性や希望に合った活動をコーディネートして、高齢者の社会参加等を促進することを目的に実施しました。令和7年度はお助け隊の活動のマッチングや調査として、マッチングを51件、新規利用者調査を5件実施しました。

また、大月市で実施している介護保険施設等においてボランティア活動に参加することで、自身の介護予防につなげていただく「大月市介護予防いきいきボランティア活動支援事業」については、介護予防・生活支援サポーター養成講座を受講した方が16名（内、3名新規）でした。

施設等のマッチングについては3施設224件、実施しました。

- ・小地域の高齢者ニーズの把握及び生活支援

地区社協の役員会等に出席し、地域住民の声を聞くことによって、住民の生活課題や資源の把握を行うことや日常生活の困りごと等を聞くことができました。

また住民の介護保険サービスや在宅福祉サービスで対応できない困りごとに対して、地域や各種団体等にて対応できるようにコーディネートしました。

③任意事業

ア 家族介護支援事業

在宅で寝たきりの高齢者並びに認知症高齢者の介護にあたっている家族介護者を対象に介護技術の習得や介護者相互の交流会を開催し、心身のリフレッシュを図ることを目的に実施しました。

回数	期 日	場 所	参加者	内 容
1	4月8日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	14名	オリエンテーション「交流会」
2	5月13日	市総合福祉センター 3階 研修室	14名	講義「ここが知りたい介護保険」
3	6月10日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	10名	オカリナ演奏鑑賞
4	7月8日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	13名	講義「福祉用具の活用について」
5	8月12日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	11名	レクリエーション・交流会
6	9月12日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	6名	「成年後見制度」について学ぼう
7	10月14日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	9名	お気軽にフィットネス教室 「楽しく体を動かそう」
8	11月11日	市総合福祉センター 3階 食堂	12名	シニアライフプランニングセミナー
9	12月9日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	13名	クリスマス交流会 フルート演奏鑑賞
10	令和8年 1月20日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	11名	高齢者の食事と栄養について
11	2月10日	市総合福祉センター 3階 食堂	11名	大月市 LINE公式アカウントについて
12	3月10日	市総合福祉センター 3階 食堂	10名	1年間を振り返って・レクリエーション

④高齢者生活支援事業

ア 家族介護用品支給事業（寝たきり老人等オムツ支給事業）

在宅のねたきり高齢者等の家庭にオムツを支給し、介護者の経済的負担の軽減を図りました。８種類の組み合わせから対象者に合った種類を選び提供しました。

なお、配布に際しては、民生委員児童委員の皆様にご協力いただいています。

	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合計
年間延べ 配布数	12	22	145	106	68	57	79	20	509

イ 高齢者訪問理美容助成金事業

寝たきり・心身の障害等の理由から、理容院や美容院に出向く事が困難な高齢者に対し在宅において理美容を行った場合、その費用の一部を助成する事業です。

助成金は、１回につき３，０００円を上限に、一人当たり年３回を限度として実施しています。

登録者数	利用回数	助成金額合計
16名	26回	78,000円

ウ 車いす無料貸与事業（社協単独事業）（貸出期間は原則最長２週間）

市内に在住する高齢者や障がい者、または怪我などにより、一時的に車いすが必要になった方へ無料で貸出を行ないました。また、ボランティア活動や福祉教育などにおける研修用機材として、地域や学校などに無料で貸出を行ないました。

年間の利用状況は次のとおりです。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	13	8	7	10	9	11	10	10	5	12	8	13

合計 116件

（２）高齢者生きがい活動推進事業

①ツキフェス２５（大ツキふれあいスポーツフェスティバル２５）

児童や高齢者、障がい児者、ボランティア等、年齢の違いや心身の状態の異なる市民が一同に集い、ふれあいを深める場として開催しました。

競技やレクリエーション等を行い、参加者相互に楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

- ・実施日 令和７年１０月２５日（土）
- ・場 所 大月市民総合体育館
- ・参加者 ２８４名

②老人大学運営事業（シニア大学）

心身ともに明朗で健康なシニア生活を樹立するために開設された老人大学の事務局として、高齢者福祉の増進に努めました。

今年度は「老人大学」の老人という言葉にネガティブな印象をもたれる方もいることか

ら、「シニア大学」の愛称をつけ、活動しました。また、学生のニーズに対応するため、健康マージャン部を新設しました。

・サークル数 21 部（学生 245 名）

- ①園芸部 15 名 ②手芸部 8 名 ③華道部 3 名 ④書道部 13 名
- ⑤詩吟部 13 名 ⑥舞踊部 8 名 ⑦大正琴部 8 名 ⑧囲碁部 8 名
- ⑨茶道部 10 名 ⑩短歌部 8 名 ⑪社会部 17 名 ⑫ダンス部 19 名
- ⑬料理部 6 名 ⑭コーラス部 13 名 ⑮カラオケ部 19 名
- ⑯民謡部 14 名 ⑰フラダンス部 14 名 ⑱水墨画部 14 名
- ⑲楽楽健康体操部 11 名 ⑳ハンドメイド部 13 名
- ㉑健康マージャン部 11 名

・全体学習 発表会や講演会など年間 4 回実施しました。

・年間行事 令和 7 年度第 56 期入学式と修了式と老大祭を市民会館で開催しました。また 11 月には秋の遠足を西伊豆方面へ日帰りにて実施しました。

（３）障害者社会参加促進支援事業

①障がい者社会見学

障がい者の積極的な社会参加と交流を図る観点から、社会見学を実施しました。

令和 7 年 6 月 1 日 かまぼこ博物館と生命の星地球博物館 参加者 79 名

②障がい者ボウリング大会

障がいがあっても、誰でも楽しめるスポーツとして、ボウリング大会を開催し、障がい児者の健康維持と会員相互の交流を深めることを目的に開催しました。

令和 7 年 8 月 24 日 都留ファミリーボウル 参加者 50 名

③障がい者クリスマスのつどい

普段、外出が困難な方など誰もが参加でき、賛助会員含めた会員同士のふれあいを深めることを目的にクリスマスのつどいを開催しました。

令和 7 年 12 月 14 日 大月市総合福祉センター 参加者 96 名

④ふれあい講演会（障がい者理解普及啓発活動事業）

障がい者当事者また家族にとって頼りになる「成年後見制度」は内容が幅広く、難解な制度であることから、親なき後などの財産や制度の仕組みや活用などについて、障がい者に係る内容に特化し、研修会を行いました。実際に相談・契約につながるなど、制度理解を深める機会となりました。

「障がい者に係る成年後見制度研修会」

～親もきょうだいも障がいのある子どもも皆が幸せになる財産の遺し方、使い方～

講師：司法書士法人オルティ 中村育美 氏

令和 8 年 1 月 25 日 大月市総合福祉センター 参加者 51 名

⑤社会参加交流事業「ぐーちょきぱー」

心身に障がいのある在宅（外出や就労の機会が得られない）の方を対象に、年5回の交流会を実施しました。また、保護者の交流の場、意見交換の場として大月ネットワーク会議を2回開催しました。

令和7年6月15日 総合福祉センター 参加者21名「お気軽フィットネス」

令和7年9月18日 総合福祉センター 参加者15名「お気軽フィットネス」

令和7年10月10日ネットワーク会議の開催 講師：大月市障害者支援担当

「大月市の相談支援事業について」 参加者12名

令和7年11月16日 遠足 参加者16名「西湖いやしの里根場」見学

令和8年 1月18日 総合福祉センター 参加者25名「eスポーツ体験」

ネットワーク会議の開催 講師：大月市社協 相談支援担当

「日常生活自立支援事業と成年後見制度の利用状況」参加者7名

令和8年3月6日 総合福祉センター 参加者11名 「eスポーツ体験」

⑥大月市障がい者福祉の会会報誌「おたより」発行

会報誌「おたより」を年1回（3月）発行、会員に配布し、加入呼びかけと周知のために福祉センターと市役所に掲示しています。

・その他「富士ふれあいの村まつり」（富士北麓公園体育館）（9月11日）に参加しました。

（4）ふれあいのまちづくり事業

大月市ふれあいのまちづくり事業は、住み慣れたまちで、高齢者や障害者、児童など誰もが安心して生活できる助け合いや交流の輪を広げ、共に支えあう福祉のまちづくりを目的に、地域のネットワークを利用し活動を展開しました。

令和7年度は、昨年引き続き地区組織活動推進委員会（地区社協）を中心とした地域のネットワーク強化に重点をおいた取り組みを行ないました。

①地域住民の各種相談（心配ごと相談事業）

・行政及び様々な相談機関等と連携を図りながら相談支援に応じました。

②福祉活動、交流活動の啓蒙と展開

- ・各地区社会福祉協議会事業への協力・事務サポート
- ・地区社会福祉協議会活動集を作成

社協職員の地区担当により、地域と連携を密にし住民主体の地域福祉の推進を図りました。

③地域におけるボランティア活動に関する相談・登録斡旋及び養成研修

・各種ボランティア講座及び研修会の周知、開催を行いました。

④地域とのネットワーク形成及び住民参加の福祉活動（見守り活動、サロン活動等）への助成、支援を行いました。

・ふれあい・いきいきサロンの推進

希望したサロンに職員派遣を年2回程度計画し、課題把握などに努めました。今年度は感染症予防のため自粛がちであったサロンも活動を再開し、年間26回程度の訪問を実施しました。

またサロン活動を希望する地区には、立ち上げに向けて相談、助言等を行っています。

・ふれあい・いきいきサロン代表者会議の開催

代表者を一堂に会して実施しました。今回は参加者自身に学んでいただき各サロンに共有していただく研修を行いました。

令和8年3月5日 総合福祉センター 参加者43名

「介護予防と健康体操」講師：理学療法士 小松文彦 氏

・各地区社会福祉協議会事業への協力・事務サポートを行ないました。（再掲）

・友愛訪問活動による見守り活動を行いました。（再掲、継続実施）

（5）災害時要援護者登録制度事業

災害発生時に自力または家族の力だけでは避難することが困難な方々（災害時要援護者）を、地域で日常から把握し、見守り・声掛け活動等を行い、一緒に避難が出来るような体制をとるための登録を本人からの申請制で登録を行い台帳の作成をしています。この台帳は、市との委託契約に基づき地域内の関係組織に情報提供させていただいています。

令和7年度末現在の登録者数は、次のとおりです。

地区名	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川
登録者	5名	3名	32名	6名	10名	8名	5名	12名

合計 84名

（6）生活困窮者自立支援事業

大月市内に在住し、長引く不況や社会情勢などの原因により、生活を維持することが困難となった方に対して、就労支援や家計の見直し、ひきこもりの支援等、個々が必要としている様々なニーズに対し、各関係機関と連携を図りながら、相談者に寄り添い、自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業を行ないました。

また、市民の皆様や関係団体の協力のもとフードドライブを実施し、多くの食品等が集まり、支援を必要としている50名に食糧支援を行うことが出来ました。

①自立相談支援事業

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却し、社会的、経済的に自立できるよう支援対象者の個々の状態に応じた包括的な相談支援を実施しました。

●相談支援者数27名（新規7名）

●年間延べ相談件数 1, 0 1 3 件（うち、食糧支援件数 5 0 件）

②家計改善支援事業

家計に課題を抱える方からの相談に応じ、家計状況を明らかにしたうえで生活再生に向けた意欲を引き出し、家計の視点から必要な情報提供や助言、相談支援を行いました。

●相談支援者数 9 名 ●年間延べ相談件数 8 3 件

③就労準備支援事業

一般就労が困難な方に対し、生活習慣の形成のための指導や助言、就労体験を行い、就労に必要な知識や技術の習得などの支援を実施した。

●相談支援者数 1 2 名 ●年間延べ相談件数 1 5 件

(7) 総合福祉センター管理運営事業

①総合福祉センターの全施設の利用状況

総合福祉センターについては、各施設とも使用目的に沿って、事業の実施や運営管理に工夫を施すなど、利用者の立場を最優先に運営を行いました。

令和 7 年度は、3 0 3 日を開館し、福祉団体の方々をはじめ多くの市民が利用されました。

各施設の利用状況等は、次のとおりです。

施 設 名	室 名 等	利用回数 (回)	利用人数 (人)	備 考
2 階 児童母子福祉 センター	児 童 館	2 8 8	4, 3 7 7	
3 階 障害者福祉 センター	栄養指導実習室外	2 5 0	2, 3 5 2	会議室を含む。 研修室を含む
	マザーズルーム外	4 0 3	3, 2 8 9	
	計		5, 6 4 1	
4 階 保健センター	保健運動指導室	1 6 1	1, 8 2 4	
5 階 老人福祉 センター	和室（研修等）	4 8	6 8 5	
	浴室 （主に浴室利用者）		2, 3 9 7	
	計		3, 0 8 2	
6 階 多目的ホール	大 小 会 議 室	2 5 5	3, 9 5 7	
見学・行事		1	2 5 2	
合 計			1 9, 1 3 3	開館 3 0 3 日

②福祉自動車貸与事業

介護を必要とする高齢者や障がい者等を対象として、通院や買物などの利便性を図る

ことや旅行などの余暇活動などを充実させることを目的に、車イスのまま乗れる福祉車両やリフト付きの福祉車両を貸出す事業を実施しました。

年間の利用状況は次のとおりです。

● 福祉自動車（軽自動車 2 台・ワゴン車 1 台）

（単位：人）

利用目的	通 院	買物・旅行	計
軽自動車 2 台利用数	1 3 8	1	1 3 9
ワゴン車 1 台利用数	3	3 1	3 4

合計 1 7 3 人

5 県社協受託事業

（１）生活福祉資金貸付事業

山梨県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした生活福祉資金貸付事業を行いました。資金の貸付による経済的な援助にあわせて、地域の民生委員が資金を借り受けた世帯の相談支援を行っています。

令和 7 年度の相談件数は延べ 2 7 件で相談内容は次のとおりです。

相談内容	人数（人）
特例貸付の償還に関する相談	4
特例貸付の免除に関する相談	3
特例貸付の償還猶予に関する相談	0
資金制度や申請に関する問い合わせ	2 0

（２）生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、生活資金でお悩みの方々へ生活福祉資金特例貸付を行いました。依然として生活困窮にある世帯や低所得等の理由により、償還が免除となった世帯に対し、生活状況の把握や相談を受け、関係機関と連携を図りながら自立に向けた支援を実施しました。

● 償還免除者 6 9 名

- ・アンケート調査の実施、架電、応答のない方への訪問調査の実施

6 共同募金事業

赤い羽根共同募金は「じぶんのまちを良くするしくみ」として、お寄せいただいたご寄付を山梨県共同募金会にて取りまとめを行い、各種福祉活動（子ども、高齢者、障がい者などを支援する様々な活動）や災害時支援等に役立てられるよう、各市町村へ配分されています。大月市においても配分金にて地域福祉活動事業を実施しています。

（共同募金は今年度集めた募金を来年度に配分する仕組みとなっています。）

大月市内においての令和 7 年度の共同募金実績額及び募金配分事業は次のとおりです。

(1) 令和7年度赤い羽根共同募金（地区社会福祉協議会等からの募金実績状況）

令和7年度地区社会福祉協議会及び団体等の実績

地 区 名	金 額（円）	地 区 名	金 額（円）
笹 子 地 区	209,500	瀬 戸 地 区	206,000
初 狩 地 区	360,000	猿 橋 地 区	1,063,000
真 木 地 区	343,500	富 浜 地 区	835,000
大 月 地 区	909,500	梁 川 地 区	222,000
脈 岡 地 区	663,770	事 務 局	506,130
七 保 地 区	560,800	募 金 額 合 計	5,879,200

※各地区社協よりお願いした企業などの募金は大口募金として地区実績に含まれていません。

(2) 令和7年度共同募金配分金実施事業

項 目	事 業 名	金 額（円）
地域社会福祉事業	・社協だより・ボランティアだより発行事業（年4回発行）	700,000
あったかサービス事業	・ふれあいいきいきサロン推進事業（43か所へ助成）	600,000
重点配分事業	・ファーストスプーン事業（新生児27名へ配布）	100,000
重点配分事業	・みんなで地域をよくする事業	100,000
市町村社協地域福祉活動事業	・地元愛醸成プロジェクト協力校事業（11校へ助成）	600,000
地区社協等小地域福祉活動事業	・老人憩いの家整備事業（14地区整備） ・地区社協活動推進事業（5地区へ助成）	1,700,000
地域福祉活動団体推進事業	・ボランティアサークル等育成事業（6団体）	250,000
歳末たすけあい事業費	・障がい児者等への贈呈事業（障害者福祉施設2施設）	150,000
合 計 金 額		4,200,000

7 福祉金庫基金

(1) 福祉金庫貸付事業

在宅高齢者福祉の充実、障害者及び低所得世帯の援護資金に供し、生活の助長福祉活動の推進を図ることを目的として行ないました。

より緊急性の高いケースに対応し、貸付限度額は5万円として実施しています。

本事業の活用によって、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図るとともに、貸付を行うだけにとどまらず、対象となる方や家族の生活ニーズなどに対して総合的・継続的な相談支援を行なっています。

令和7年度においては、相談件数は0件でした。

介護保険

介護保険法や障害者総合支援法に基づく事業として、介護保険指定居宅介護支援事業（介護サービス計画）、介護保険指定居宅サービス事業（訪問介護、通所介護。）及び障害者居宅介護サービス事業の運営がなされており、各事業所の令和7年度実績は下記のとおりです。

（１）事業所の実施状況

	事業所名と職員体制	実 績 内 容
指定居宅サービス事業	(1) 訪問介護事業所 ヘルパーステーション 「花さき」 【職員体制】 訪問介護員 ・常勤 3名 (うち障害担当1名) ・非常勤登録 6名 計 9名	・要介護の利用者年間336人に対し、年間合計約3,713時間の介護を実施しました。 ・介護予防の利用者年間162人に対し、年間合計約749時間の介護を実施しました。 ・障害福祉サービス事業では、利用者年間47人に対し、年間合計約552時間の介護を実施しました。
	(2) 通所介護事業所 デイサービスセンター 「やまゆり」 【職員体制】 ・管理者（兼務）1名 ・生活相談員（兼務）4名 ・看護職員 2名 常勤 2名 (機能訓練指導員兼務) ・介護職員 8名 常勤 7名 (うち相談員兼務4名) 非常勤 1名 ・機能訓練指導員 1名 ・送迎者運転手(非常勤) 6名 ・調理員 7名 常勤 1名 非常勤 6名	・要介護者ならびに要支援等(利用者) 年間利用者延7,566人（月平均約630人、一日平均約24.6人）の受入れをしました。 営業日数は307日。 ※上記利用人数には、大月市介護予防日常生活支援総合事業通所型サービスを含む
指定居宅介護支援事業	(1) 居宅介護支援事業所 介護プラン「花さき」 【職員体制】 介護支援専門員 (ケアマネージャー) ・常勤 5名 計 5名	・要介護者年間合計2,042件のケアプランを作成しました（月平均170人）。 ・ケアマネージャー 一人当たり、1月あたり約34人を担当しました。 ※上記利用人数には、大月市介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメント業務を含む

8 介護保険訪問介護事業

(1) 訪問介護事業所 ヘルパーステーション「花さき」事業所の利用状況（年間実績）

ア 介護保険分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	介護保険 延時間			合計時間	利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		身体介護	生活援助	身体・生活 複合		
4 月	31	59.3	25.5	251.0	335.8	10.8
5 月	32	60.8	20.75	287.75	369.3	11.5
6 月	31	77.0	18.75	267.25	363.0	11.7
7 月	31	76.5	24.0	254.0	354.5	11.4
8 月	28	61.7	18.25	224.0	303.95	10.9
9 月	27	70.8	16.0	224.5	311.3	11.5
10 月	26	63.3	18.5	245.0	326.8	12.6
11 月	28	63.3	16.0	221.5	300.8	10.7
12 月	25	59.7	15.5	212.75	287.95	11.5
1 月	23	50.0	15.0	190.5	255.5	11.1
2 月	26	58.3	14.0	169.75	242.05	9.3
3 月	28	65.0	16.0	181.5	262.5	9.4
合 計	336	765.7	218.25	2,729.5	3,713.45	11.1
1ヵ月平均	28.0	63.8	18.2	227.5	309.5	11.1
割 合		20.6%	5.9%	73.5%	100%	

イ 介護予防分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	介護予防 延時間		合計時間	利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		予防 1	予防 2		
4 月	11	45.0	0	45.0	4.1
5 月	12	46.0	0	46.0	3.8
6 月	14	55.0	12.0	67.0	4.8
7 月	14	53.0	13.0	66.0	4.7
8 月	14	46.5	13.0	59.5	4.3
9 月	14	49.0	21.0	70.0	5.0
10 月	14	50.0	21.0	71.0	5.1
11 月	14	42.0	20.0	62.0	4.4
12 月	14	46.0	21.0	67.0	4.8
1 月	14	46.0	19.0	65.0	4.6
2 月	14	43.0	18.0	61.0	4.4
3 月	13	48.0	21.5	69.5	5.3
合 計	162	569.5	179.5	749.0	4.6
1ヵ月平均	13.5	47.5	15.0	62.4	4.6
割 合		76.0%	24.0%	100.00%	

ウ 障害者利用者分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	延時間			利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		障 害		合 計	
		身 体	家 事		
4 月	4	12.0	38.0	50.0	12.5
5 月	4	9.0	40.0	49.0	12.3
6 月	4	9.0	43.25	52.25	13.1
7 月	4	11.0	40.0	51.0	12.8
8 月	4	10.0	40.5	50.5	12.6
9 月	4	9.0	40.0	49.0	12.3
10 月	4	11.0	43.5	54.5	13.6
11 月	4	9.0	33.5	42.5	10.6
12 月	4	9.0	34.75	43.75	10.9
1 月	4	9.0	26.25	35.25	8.8
2 月	4	9.0	26.25	35.25	8.8
3 月	3	10.0	29.25	39.25	13.1
合 計	47	117.0	435.25	552.25	11.8
1ヵ月平均	3.9	9.8	36.3	46.0	11.8
割 合		21.2%	78.8%	100.0%	

9 介護保険通所介護事業

(1) 通所介護事業所 デイサービスセンター「やまゆり」事業所の利用状況（年間実績）

（単位：人）

月別	利用者数 (対象者)	延利用 者数	介護度等別						営業 日数	1 日 平均
			要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
4 月	70	642	76	206	204	101	17	38	26	24.7
5 月	71	646	73	203	221	98	17	34	27	23.9
6 月	73	639	77	206	207	92	17	40	25	25.6
7 月	74	706	85	235	205	128	20	33	27	26.1
8 月	72	647	61	209	209	128	17	23	26	24.9
9 月	70	654	58	218	229	109	16	24	26	25.2
10 月	70	663	69	224	239	93	19	19	27	24.6
11 月	76	613	61	204	230	91	15	12	25	24.5
12 月	76	593	60	192	230	83	16	12	24	24.7
1 月	73	560	69	205	181	72	16	17	24	23.3
2 月	71	560	56	208	170	90	16	20	24	23.3
3 月	76	643	79	229	208	81	24	22	26	24.7
合 計	872	7,566	824	2,539	2,533	1,166	210	294	307	24.6
1ヵ月平均	72.7	630.5	68.7	211.6	211.1	97.2	17.5	24.5	25.6	24.6
割 合		100.0%	10.9%	33.5%	33.5%	15.4%	2.8%	3.9%		

10 介護保険居宅介護支援事業

(1) 居宅介護支援事業所 介護プラン「花さき」事業所の利用状況（年間実績）

（単位：人）

月別	要介護者数	介 護 度 別					
		予防	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4 月	155	23	54	44	20	11	3
5 月	155	19	57	44	20	11	4
6 月	164	24	57	44	25	9	5
7 月	178	24	62	48	28	10	6
8 月	173	23	58	49	29	8	6
9 月	174	24	56	52	27	9	6
10 月	177	24	56	52	30	9	6
11 月	174	22	55	49	31	11	6
12 月	178	23	57	51	29	12	6
1 月	174	23	55	49	28	12	7
2 月	166	21	58	43	25	12	7
3 月	174	22	57	48	26	15	6
合 計	2042	272	682	573	318	129	68
月平均	170.2	22.7	56.8	47.8	26.5	10.8	5.7
割 合	100.0%	13.3%	33.4%	28.1. %	15.6%	6.3%	3.3%

11 障害者サービス事業

(1) 地域生活支援事業

①移動支援事業

利用者が地域における自立生活及び社会参加ができるよう、その利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じ、外出時における移動の介護の援助を行います。

令和7年度は、登録者数1名に対し、延べ利用57日の支援をしました。

12 地域支援事業

(1) 地域支援事業

ケアマネージャー等との連携を図りながら、利用者とその家族への相談支援を行なうなど、地域福祉推進の視点で取り組みました。また、利用者と地域との関わりにも目を向け、福祉関係者等と連携を図り事業を実施しました。

①介護予防・生活支援サービス事業通所型サービス

ア パワーアップ教室

要支援認定者や介護予防生活支援サービス事業対象者等を対象として、理学療法士の指導のもと、ストレッチ、有酸素運動、簡単な器具を用いた運動等を集団指導で実施し、運動器の機能向上を図りました。

また、栄養士の指導のもとでは、低栄養状態の改善を目指した食事内容の講義、個別指導を行ないました。更には、歯科衛生士の指導のもと、日常的な口腔機能向上の訓練の指導、口腔清掃の指導を行ないました。

これらの教室では、要介護状態となることの予防、又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び心身機能の維持向上を図ることを目標に開催しました。

グループ	期 間	回数	利用者	男	女	延べ数
1	4月10日～9月11日	28回	4	1	3	67
2	10月2日～3月12日	28回	6	2	4	63
合 計		56回	10	3	7	130

②一般介護予防事業

ア ミニデイサービス

地域の公民館・集会所において（10地区）、レクリエーションをはじめ、趣味・創作活動、肩こり体操・腰痛運動を行い、健康への意識向上・生活習慣の改善を図り、生きがいをもって、外に出る意欲を高め、閉じこもりを防止することを目的に、ボランティア（おおつきお助け隊）の協力をいただく中で実施しました。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者	73	74	73	64	64	71	63	62	70	62	73	72	821

イ 集いどころ「スマイル」

住民主体の介護予防活動の育成・支援を目的とし、福祉センターを集いの場として、参加者の憩いの場、生きがいの場、生活の張合いの場になるよう、毎週火曜日、木曜日、金曜日に軽体操、趣味、作り物、レクリエーション、脳トレなどを実施しました。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	12	12	15	12	12	9	12	9	12	12	12	9	138
実人数	45	44	44	40	41	37	44	40	43	40	37	39	494
延人数	108	110	150	106	102	62	107	82	115	99	98	74	1,213